

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	建物火災消火活動時における隊員の火傷事故
3. 体験した事例の中心的要素	建物火災消火活動中に筒先員の後方で放水補助をしていた隊員が、フラッシュオーバー発生に伴い、転戦用に準備していたホースから白煙があがったため、輻射熱からホースを遠ざけようとホースを持ちあげたところ左手第一指及び左手第二指をⅡ度熱傷したものの、なお、防火手袋装着しての事故である。
4. 体験した事例の原因・理由	受熱して高温になっているホースの金具部分を安易に持って移動させようとしたため。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。
------------------	--------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成27年7月13日 午前11時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：建物周辺
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	火傷・熱傷
7. 事例体験時の活動	火災現場活動初期、[木造建物]
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	放水活動
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[21]歳、勤続年数[1]年、現場経験年数[1] 年、階級[消防士] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[35]歳、勤続年数[24]年、現場経験年数[24] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[49]歳、勤続年数[24]年、現場経験年数[24] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [車長]
○その他(当事者が4人以上の場合)	34歳、勤続11年、現場経験11年、消防副士長、機関員

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A	現着後ホースを延長し、Bの筒先補助にあたる	
経過2	A	ホースを移動しようとして、負傷	
経過3			
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。危険事象の対応方法を知らなかった。避難退避がうまくいかなかった。指揮者が適切に指示しなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。他隊(員)から適切な注意を受けられなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	はい

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

安易な行動をとったため

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

火災現場において散乱物等を除去する場合は、高温になっている可能性があることを考慮し作業する。

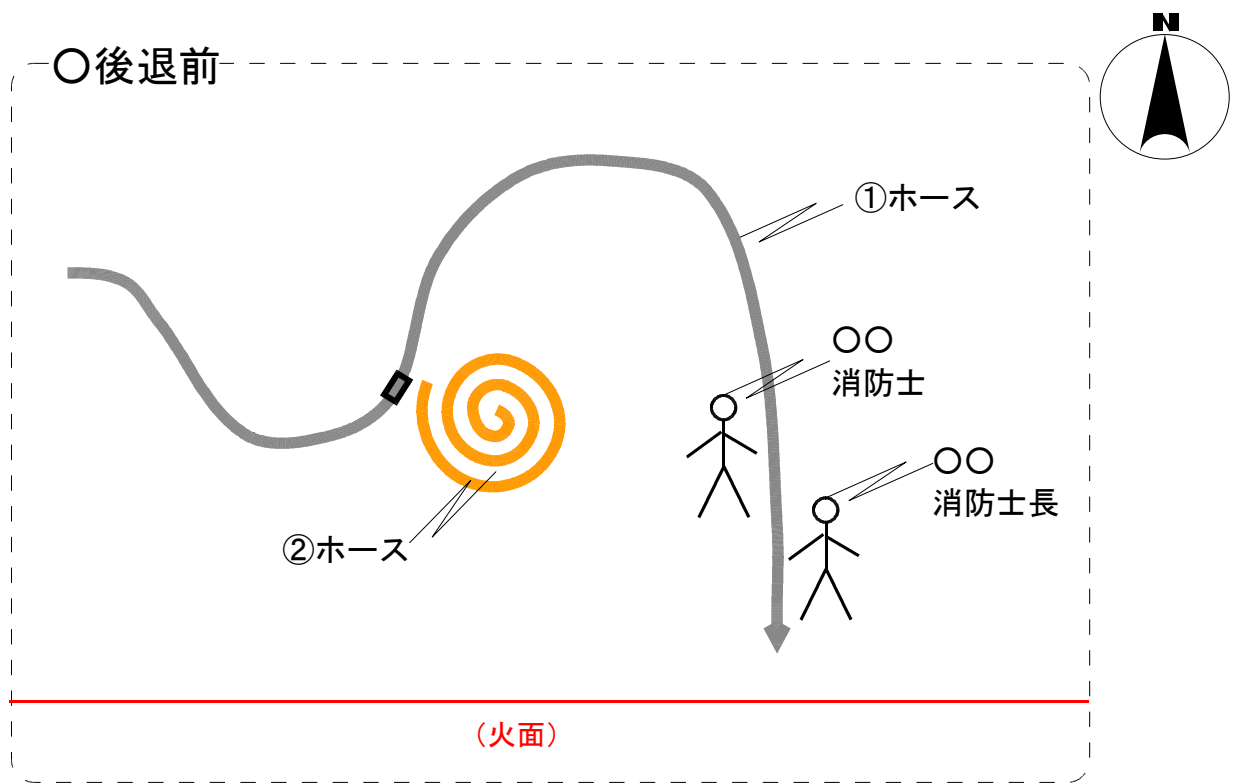
○装備・資機材の対策について

グローブや装備品の性能を過信しない。

○活動環境の対策について

高温状況下では、消火ホースの水を活用し顔面や手などを冷却し受傷事故防止を図る。

○指揮・情報伝達の対策について



火勢が強くなり後退

